

日本地球惑星科学連合2010年大会における気象学会 主催セッションについて

講演企画委員会

「天気」7月号でお知らせしましたように、日本地球惑星科学連合2010年大会（2010年5月23日～28日、千葉市幕張メッセ国際会議場にて開催、以下連合大会と略す）において日本気象学会主催セッション「最新の大気科学」を実施する予定です。同号でご案内しました公募の結果、2010年度は下記のように「北極圏の気候変動」というサブテーマでこのセッションを実施することとなりました。

1. サブテーマ名：北極圏の気候変動

2. サブテーマの趣旨説明

近年の地球温暖化に伴う気候変動が、自然界のフィードバックを介して最も顕著に現れると言われているのが北極圏である。2007/2008年に実施された国際極年（IPY）の研究成果も出始めており、国際的な枠組みの中で、気圏—水圏—陸圏の総合的・学際的な研究が進行中である。近年の北極海の海水激減に代表される北極圏の気候変動を詳細に解析し、大気・海水・海洋に内在するさまざまなフィードバック過程を包括的に理解し、地球温暖化の将来予測に役立てるためには、地球惑星科学の複数の専門分野が、北極圏という共通のキーワードの下に集結し、密な情報交換により相互理解を深めることが重要課題である。日本気象学会が企画する「最新の大気科学」において、北極圏の気候変動をテーマに選び、北極圏の温暖化に関する先端研究の最新情報を共有することで、北極圏の気

候変動の総合的議論を深めることが、本セッションの目的である。

3. コンピーナー

田中 博 筑波大学計算科学研究センター
山崎孝治 北海道大学大学院地球環境科学研究院
山内 恭 国立極地研究所

代表連絡先：

Tel：029-853-6482, Fax：029-853-6489,

E-mail：tanaka@ccs.tsukuba.ac.jp

4. 備考

本セッションは、2009年度までレギュラーセッションとして開催してきました「北極域の科学」代表：大畑哲夫（JAMSTEC）の一部とジョイントで開催する予定です。本気象学会主催セッションに登録を希望される方は「北極域の科学」ではなく「最新の大気科学」に登録して下さいをお願いします。

本セッションに対する一般講演については、連合大会 ホーム ページ <http://www.jpogu.org/meeting/> より、2010年1月12日から予稿の投稿が可能となりますので、詳しくはこのホームページをご参照ください。なお、2010年度は連合大会の日程の一部が気象学会春季大会と重なりますが、このセッションについては連合大会プログラム委員会に対して春季大会終了後の27日または28日の開催希望を伝達しております。